

宮古史跡めぐり

人頭税石 (にんとうぜいせき)

宮古諸島は世界でも類例をみない悪税といわれた人頭税によって苦しめられた島です。慶長14年(1609年)、薩摩の琉球侵略の結果、琉球王府はその財政に貧窮し、その対策として宮古・八重山の両地方に限り寛永14年(1637年)から人頭税を課すことにしました。男女15歳以上50歳までの人を対象に税が課せられ、男は粟を女は宮古上布を納めました。賦計り石(ふばかりいし)とも呼ばれる人頭税石は高さ1m43cmの石柱で、この石の高さ以上の背丈になると、税が課せられたという伝承もあります。この悪税は明治になっても続き、島民や新潟県出身の中村十作らの帝国議会への直接請願の結果、明治36年(1903年)になってようやく廃止されました。



博愛記念碑

(はくあいきねんひ)

明治6年(1873年)7月、宮古島南岸の宮国沖で台風のため座礁難破したドイツ商船エル・イ・ロベルトソン号の乗員を、島民が豪雨の中を危険をおかしてクリ船で救助しました。救助された乗員らは島の人たちの手厚い看護を受けた後、帰国しました。この美談は時のドイツ皇帝ウイルヘルム一世に報告され、感激した皇帝は島民の勇気と博愛の精神を永く後世に伝えるため、明治9年軍艦チクロブ号を宮古島に派遣し、博愛記念碑を建立しました。この時皇帝は救助にあたった島民に望遠鏡、時計などを贈っています。



知利真良豊見親の墓

●大和井



仲宗根豊見親の墓 (なかそねとういみやのはか)

15世紀末から16世紀の初め頃にかけて宮古島を統治していた仲宗根豊見親が、父を葬るために築造した墓で、豊見親や中導氏と呼ばれるその子孫が葬られています。仲宗根豊見親は、宮古を統一した目黒盛豊見親の玄孫で、琉球王府の尚真王に服属して宮古の主長となり、宮古地方の中央集権を確率して島民の崇敬を集めた統治者です。墓は、宮古在来のみやーかと呼ばれる巨石墓の様式と、沖縄本島風の横穴式墓との折衷様式となっており、沖縄本島と宮古島の相互の文化の交流を裏付ける代表的な墳墓で、当時の石工技術と豊見親の権勢を物語る貴重な墓です。

漲水御嶽 (はりみずうたき)

この御嶽は宮古島創世の神話と、人と蛇が結婚した「人蛇婚伝説」をもつ由緒ある御嶽です。御嶽には宮古島の創世神である「古意角」(こいつの)と「姑意玉」(こいたま)の男女二神を祭っています。太古の昔、古意角と姑意玉の二神は天におられた天帝(あまのていだ)という一番偉い神様に命ぜられて島の守護神となり、漲水天久崎(はりみずあめくざき)に住んで、宗達(むにだる)と嘉玉(かだま)という男女2人の子供を産み、育てました。その子孫が繁栄し、これが宮古島民になったと伝えられています。



使ってみよう! 宮古方言

- 父親 … ウヤ
- 母親 … アンナ
- 男 … ビキドゥン
- 女 … ミドゥン
- 私 … バン
- 君 … ウフ
- 最高 … ズミイ
- きれい … アバラギ
- 嬉しい … ブカラス
- 畑 … パリ
- いらっしゃい … ンチャーチ
- ありがとう … タンディガー
- お若いですね … バカー
- 頑張れ … ワイドー
- びっくりした … アガイタンディ

唄ってみよう! 宮古民謡

- 「なますのぐう」
- 一、なますぬぐうや なうぬが見事
クラサアユイユイ
あかながまめど さら見事よ
ユーハラメーナ
メーヌークラサアユイユイ
ユーヤナウレ
 - 二、うりうき物や なうぬが見事
クラサアユイユイ
貝血がまめど さら見事
ユーハラメーナ
メーヌークラサアユイユイ
ユーヤナウレ
 - 三、うりはさんうむぬやなうぬが見事
クラサアユイユイ
白ばすがまめど さら見事
ユーハラメーナ
メーヌークラサアユイユイ
ユーヤナウレ (以下8番まで)

貸切

タクシー 宮古島周遊コース

宮古島を隅々まで案内いたします!



- 3時間コース 10,440円
- 4時間コース 13,920円
- 5時間コース 17,400円

お客様の要望や時間に合わせたオリジナルコースの作成もできますので、気軽にお問い合わせください。



(株)八千代バス・タクシー

〒906-0007 沖縄県宮古島市平良字東仲宗根394番地
 TEL(0980)72-3001(タクシー)
 TEL(0980)72-0677(バス)
 FAX(0980)72-4967
<http://yachiyo-bus-taxi.jp>

宮古島楽園観光
 美ら島 宮古島で思い出作りのお手伝い
 笑顔と真心で安全・安心・快適な旅をサポート



① 池間大橋

宮古本島と池間島を結ぶ離島架橋です。全長1,425m。総工費99億円をかけて1992年2月に開通しました。



② 西平安名崎

宮古本島北西の地先にある岬で、エネトピア構想の一環として自然の風を利用した風力発電の風車が立ち並び、雄大な景観を見せます。右手には池間大橋、左手には伊良部島が一望できます。



③ 宮古島海中公園

普段着のまま豊かな海洋資源とふれあえる観光スポット。海中観察施設では24個の亚克力パネルを通して色とりどりの熱帯魚を自然のままの姿で観察することができます。



⑤ 通り池

雨水による石灰岩の浸食が造った神秘的な自然の造形。底が海とつながっており、絶好のダイビングポイント。県の天然記念物に指定されています。



⑥ 渡口の浜

伊良部島の代表的な海水浴場。白い砂浜と透き通った海は南国の情緒を堪能させます。集落も近く、手軽なビーチとして地元の人達もよく利用します。



⑦ 伊良部大橋

宮古本島と伊良部島を結ぶ3,540mの橋。完成すれば通行料金を徴収しない橋としては日本最長となります。2015年開通予定。



⑧ 与那覇前浜

“東洋一の白い砂浜”がキャッチフレーズの海水浴場。純白の砂浜が延々と続き、様々なマリンスポーツが楽しめ、トライアスロン宮古島大会のスタート地点としても有名です。



④ 砂山ビーチ

市街地から北へ約4km。パウダーのような白い砂が有名で、自然の造形が美しいビーチ。海水浴場として観光客や地元の人も人気です。



⑨ 来間大橋

宮古本島と来間島を結ぶ1,690mの橋で1995年3月に開通しました。橋の上や来間島の展望台から見えるエメラルドの海は絶景です。



Welcome to Miyakojima!

んみや〜ち宮古島!

青く透き通る海、どこまでも続く白い砂浜。一年を通して暖かい気候の宮古島は豊かな緑と美しい花々に囲まれた南国の楽園です。主要な観光スポットから穴場まで、宮古島の自然や文化、歴史を知り尽くしたガイドが余す事なくご案内いたします。



八重干瀬

普段は海面下にあり、毎年旧暦の3月3日になると浮上する大サンゴ礁群。宮古島の北方15kmにあり、その巨大さから“幻の大陸”と呼ばれています。南国の代表的な魚介類が数多く見られ、さながら自然の水族館です。



⑮ 宮古島市熱帯植物園

亜熱帯特有の草花を集めた一大楽園。織物・陶芸・郷土料理などの体験ができる体験工芸村もあり、宮古島の自然や文化、歴史に触れることができます。



⑭ 宮古島市総合博物館

宮古群島の民俗文化や歴史的資料が一堂に展示されています。島の人たちの生活様式がリアルに表現されている模型は見ものです。歴史的に貴重な文物も数多くあります。



⑬ 宮古島市地下ダム資料館

世界初の大型地下ダムの建設技術や構造、地下水のメカニズムを映像やナレーション等で説明している資料館。宮古島と地下水の関わりを詳しく知ることができます。



⑫ 東平安名崎

宮古島最東端。紺碧の海に2kmにわたって突き出した美しい岬。日本百景の一つに数えられる代表的な観光地です。県の天然記念物“天ノ梅の群生落”に年中おおわれ、テッポウユリの咲く春は特に絶景です。

⑫ 東平安名崎

⑪ 宮古島海宝館

世界中の貝を一同に集め、その移り変わりや知られざる生態をわかりやすく展示してある貝の博物館で、子供から大人まで楽しめます。



⑩ うえのドイツ文化村

ドイツのシュターデ市と友好関係にある旧上野村が建設したドイツ風のリゾート施設です。中世ドイツの建物を模した博物館、おみやげ品店などが立ち並び観光スポットです。

